



「エネルギー安全保障とリスクへの対応」ご案内

主催：日本リアルオプション学会

共催：東京理科大学理工学部経営工学科

ハイブリッド開催 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館第1フォーラム・オンライン (ZOOM)

2022年**12月3日** (土)

参加申込先：学会ホームページ <http://realopn.jp/>からお申込みをお願いします。

司会：小田 潤一郎 秋田大学大学院 准教授

講演1

11:10 - 12:10 『日本のエネルギー安全保障：ロシア・ウクライナ戦争の影響を考える』

入江 一友 一般財団法人 アジア太平洋エネルギー研究センター (APEREC) 代表理事・所長

世日本のエネルギー供給は、中東地域の石油・ガスに大きく依存してきており、エネルギー安全保障の向上のため、石油・ガスの調達先の多様化の一環としてロシアが有望と考えられてきたが、ロシア・ウクライナ戦争の勃発により、そのような可能性は相当に小さくなるとともに、ロシアの石油・ガスに依存していた欧州が、その他地域からの調達を巡って日本を含むアジア地域と競合の度合いを高めており、直接的・間接的に日本のエネルギー安全保障は困難に直面している。

講演2

13:30 - 14:30 『電力の安定供給に向けた取り組み』

安田 宗浩 電気事業連合会広報部 副部長

カーボンニュートラルに向けた世界的な潮流やウクライナ侵攻によるエネルギー危機等を踏まえ、事業者による電力の安定供給に向けた取り組みをご紹介します。

講演3

14:40 - 15:40 『ユーラシアにみるエネルギー安全保障の変化』

稲垣 文昭 秋田大学大学院 国際資源学研究科 教授

1991年末の旧ソ連崩壊は、その潤沢な炭化水素エネルギーを巡る国際的な競争を引き起こした。「パイプラインポリティクス」とも言われた国家間のパワーゲームにより、地政学やエネルギー安全保障論が再度注目を浴びるようになった。その旧ソ連圏におけるエネルギー安全保障の変遷を、ロシア・ウクライナ戦争、地球温暖化対策といった地球規模課題への対応などの影響を含め概観する。

パネルディスカッション

モデレーター：服部 徹 電力中央研究所社会経済研究所 副所長

15:50 - 16:50

『将来の日本のエネルギー安全保障』

パネラー：

稲垣 文昭 秋田大学大学院 国際資源学研究科 教授

安田 宗浩 電気事業連合会広報部 副部長

小田 潤一郎 秋田大学大学院 国際資源学研究科 准教授